



# WORLD BUSINESS ACADEMY

*Rekindling the human spirit in business*

ワールド・ビジネス・アカデミーに松村昭雄チェアを設置

4月にワールド・ビジネス・アカデミーの取締役会は、その生涯を世界平和のために政府、ビジネス、精神指導者間の架け橋造りに捧げてきた著名な外交官・松村昭雄のためのチェアを設置することを採決しました。



Akio, Pres. Gorbachev,  
Amb. Aitmtov at Kyrgyzstan 1997

松村チェアの目的

多国籍企業が直面している主要問題の解決において、30年間の国際外交の成功で開発した才能と接点を、民間に適用すること。戦略、財政、精神面の考察を含む一見困難な異文化間問題に挑戦するための不可欠な枠組みを開発すること。

背景

国連や他の組織での長い経歴を通じて彼は、しばしば人生航路を変えた現在及び将来の政治指導者のために行事を立ち上げてきました。たいていの場合、その会合のタイミングや場所は先見的だったのです。京都、リオデジャネイロ、ジェリコ、モスクワ、そしてコンスタンチノーブルで開催した会議は、全てその地域権力の主要構造移行を先取りしたものでした。

国家元首、企業の社長、教会の長、全員が、最も難しい状況にダイアルを合わせ、人にタブーを破る気を起こさせ、解決を探るためより深い人間性のレベルで理解し合う、彼の人並み外れた才能に気がついたのです。

マッカーサー基金の「天才補助金」を勝ち取った時、彼はそのお金を、今では有名になった1988年人類存続に関するオクスフォード精神指導者及び議会指導者世界会議を立ち上げるために使いました。その会議には多くの前途有望な指導者が参加し、彼らはその後、国内及び国際的な評価を得ることになりました。

成果

二十世紀最後の二十年で彼は、地球上の全ての国や文化間のより強い連帯感について話をする多くの行事を立ち上げました。

- 1999年 ベルリン国会議事堂での欧州議会運営会議
- 1997年 トルコ、コンヤでの中央アジア議会と精神会議、事務総長
- 1995年 ジェリコでのラビン首相とアラファト議長主催、和解に関する世界会議、事務局
- 1992年 国際ミドリ十字、初代事務総長
- 1992年 リオデジャネイロでの議会地球サミット会議、事務総長
- 1990年 クレムリンでのゴルバチョフ大統領主催、国際フォーラム会議、事務総長
- 1982- 国連開発計画顧問
- 1983年
- 1988年 オクスフォード大学でのカンタベリー大司教主催、人類生存に関する議会指導者と精神指導者のオクスフォード世界会議、事務総長
- 1985年 人類生存に関する精神指導者と議会指導者の世界フォーラム、創始者
- 1984年 チュニスでの人口問題に関する全アラブ地域議会会議
- 1983- 元国家元首交流会議、創始メンバー及び顧問
- 1989年
- 1981年 国連人口基金（UNFPA）主催、中国政府後援、人口問題に関するアジア議会会議、コーディネーター
- 1979年 国連人口基金（UNFPA）主催、スリランカ政府後援、世界議会会議、チーフ・コーディネーター

#### チェアについての本人の言葉

私の目標は、企業が現在の世界環境の中で、非常に難しい変化の問題に首尾よく取り組むのを支援することです。

私達全てが、流動的であいまいな市場の中で繁栄しようと努力しています。それぞれ相反する利害関係者によって造られた緊張感を通じて、自分のやり方で交渉しています。しかし幾つかの組織だけが、明解な価値観と目的意識に基づいて、自信を持って前進する能力を見つけ出しています。私の目標は、少数の企業体との長期的関係を構築することにあります。

そのような関係の範囲内で私は上級管理者に、どうしようもなく見えたり、解決できないと見られる問題に対する対処法の相談に乗ってあげられると信じています。

世界が二十一世紀に入ると、関係における重要性は個々の取引から倫理、価値、精神性へと移行しつつあります。文化や精神性が、単に認識されるべきというだけでなく、商慣習の基盤となる世界になりつつあります。私は政府や民間非営利団体（NGO）に対し行ってきたのと同様、商売でもこの道の案内役、そして橋渡し役として役目を果たすことができると信じています。

三十年以上の間、問題の最も難しい点を伝える方法を模索してきました。いつだったか、世界平和、人口爆発、飢餓、そして宗教、倫理上の衝突の問題に取り組んだことがあります。

個人的生涯経験に基づく自分のやり方で、他の人が見つけられなかった希望と勇気を見つけました。私は共通の目的を見出すために人々を一同に集める方法を発見しました。ある部分その理由は、私が幸運にも東と西、両方の伝統の中で生活することができ、世界中の多くの人達と友達になれたからなのです。

私がこれらの問題の中に、具象面だけでなく精神面の要素を探すことに重点を置いているため、このことが可能になったのです。影響力のある立場にいる人は、自分の見解だけに賛同する人を選びがちです。でも、彼らがチャンスさえあればその心の狭い立場を超えたがっているのが私には解ります。

決定権のある者が、その仕事の精神面に基盤を置いていない限り、重要な問題は真に解決されないのです。この世界では、現実主義と理想主義の間に避けられない対立があります。簡単な問題は専門の技術者によって解決されつつあります。もっと根深い紛争に関係する対立に取り組むには、問題解決過程に相応しい精神面造りが求められます。

アカデミーのGlobal Reconstruction出版シリーズの中の「松村昭雄氏とのインタビュー抜粋」をお読みください。

松村昭雄氏は世界のビジネスにおける異文化間顧問という新しい役割を造ったため、リンウッド・フレデリックセン氏が「その地位に関する博識ある賛辞」を書いています。

(この記事は松村昭雄氏と同期に中央大学を卒業した友人、堀田純三氏によって英語から翻訳されたものです。2001年60歳で定年退職。経歴は、1964年と1965年にニューヨーク世界博覧会日本館勤務を初め、ノースウェスト航空羽田空港2年間勤務、日本の広告代理店7年間勤務、英国籍洋酒販売会社22年間勤務、日本の商社2年間勤務などがある。)

この件に関する連絡は英語で[amy@worldbusiness.org](mailto:amy@worldbusiness.org) にお願ひします。また、松村氏活動支援の寄付をご希望の方は、小切手を以下の住所宛にお送りくださるようお願いいたします。

**Akio Matsumura Chair**  
**World Business Academy**  
**428 Bryant Circle, #109**  
**Ojai, CA 93023, U.S.A.**